

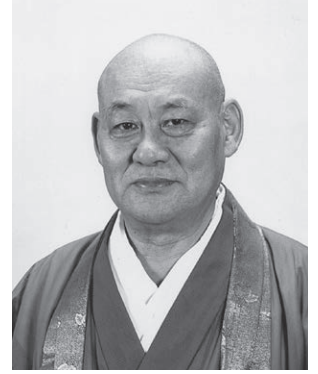
# 京 佛

夏 季 号



八幡市 正法寺 重文 大方丈

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	理事	〃	〃	常務理事	理事長
長澤香静	伏見浄香	佐伯功勝	奥垣内圭哲	横江桃国	菊入諒如	森孝忍	三浦文良	谷内弘照	坂口博翁	佐分宗順	宮城泰年	有馬頼底
〃	名譽顧問	〃	監事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	評議員
上村貞郎	東伏見慈晃	小澤昭美	川村俊弘	田邊宗一	田中惠厚	掃部光昭	山木雅晶	澤宗泰	北園文英	砂原秀輝	大西真興	荒木元悦
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	参事
舞鶴東仏教会会長	三和町仏教会会長	大江町仏教会会長	綾部市仏教会会長	福知山市仏教会会長	加悦谷仏教会会長	京丹波町丹波仏教会会長	京丹波町和知仏教会会長	戸田妙昭	能登春夫	沢田教英	吉田清順	華園源昭
松尾義空	村井俊道	梅原正俊	中嶋暁道	一常宗玄	松尾玄幸	田原良英	竹中成圓					



## 理事長報告

# 万里無片雲

## ばんりへんうんなし

臨濟宗相国寺派管長

理事長 有馬 頼 底

謹啓 時下ご清祥の御事と存じ上げます。平素は何かご協力をお賜り厚く御礼申し上げます。さて、二年半に及ぶコロナ禍もようやく収まってゆく方向性に見えましたが最近増大となつて参りました。

当会の令和三年度の活動は、おしゃかさまを讃える夕べの中止以外はコロナ対策を講じながらの春秋焼骨灰供養法要、お盆

の採燈大護摩供、成道会等の仏教諸行事は滞りなく執行することができ、「明日の京都文化遺産プラットフォーム」の活動につきましてもフォーラム「コロナ禍における伝統文化の茶道・華道・香道の取り組み」、シンポジウム「コロナ以降の京都観光」、世界遺産ネットワーク会議「コロナによる文化遺産への影響と回復への道」等を行いました。

加えて、宗教と社会研究実践センターでは、三回に渡つて研究会を開催し、監視社会と宗教について言及し、その成果を「監視国家と宗教活動」―キャッシュレス社会以降のデジタル化の中で―を刊行致しました。また、五年に一度の経産省・総務省からの「経済センサス調査表」についても京都府と連携し、京都府内の全寺院への解答レポートを作成いたしました。全日本仏教会、日本宗教連盟とも情報共有し、京都仏教会の解答レポートが全国の宗教法人と共有される成果となりました。令和四年度は、オミクロン株の急増でコロナの影響は残るとは存じますが、明るい兆しも見え始めてきております。例年の宗派を超えた仏教諸行事、本年は「宗教法人非課税の根拠」をテーマに考究致します。また「宗教法人とキャッシュレス社会」についても具体的に研究を

深めます。社会福祉活動、府市行政や宗教連盟との諸団体関連会議、宗教と社会研究実践センターの活動も積極的に展開致す所存でございます。

本年も信教の自由・政教分離の原則を重んじ、各宗教とも情報交換を行い、各識者の方々とより積極的に交流を行つて参ります。

### ばんりへんうんなし

## 万里無片雲

これは臨濟禪師の弟子宝寿沼とある僧の問答に出てくる言葉です。その僧が宝寿沼に、「万里雲なきとき、如何」と聞いたつまり、雲一つないカラッと晴れ上がった青空とはいかなるものかと。これは、いわゆる悟りの境地、何一つ曇りのない無の境地を青空にたとえて質問したわけですね。この問いに宝寿沼は「青天すべからく棒を喫すべし」と答えた。そんな雲一つない青空なんて棒を食らわしてやらにやいかんと言った。するとこの僧は、「訝し、青天何の科ある」と尋ねた。一点の雲もなくみごとに晴れ渡つた悟りの境地のどこが悪いんですかと聞いた。そのとたん、宝寿沼はその僧をピシッとたたいたということです。この問答はどういうことでしょうか。宝寿沼は、その僧の問いのどこが気に入らなかつたのでしょうか。まったく雲一つな

く晴れ渡つた青空、それはそれで実に素晴らしい世界のはずです。問題は、それを悟りの境地になぞらえて、「如何」と質問した僧の思いがつた態度にあるのです。青天白日は青天白日でいいのです。それを悟りの境地だとか何だとか、勝手な理屈をつけて質問してきたところにいささかの曇りがあつたとみるべきです。「青天すべからく棒を喫すべし」とは、晴天とは何かと問う、お前さんのその濁つた心をこそ、まず棒でどやさなければならぬ、という意味であるにもかかわらず、僧はそれがわからずに、「青天何の科ある」などと相変わらず見当違いの質問をしている。もうこれはいくら言葉のやりとりをしてもらちがあきません。それで宝寿沼は僧をたたいたのです。これが悟りだ、素晴らしい境地だと思つたとたん、曇りが出る。悟りに執着して、その境地に酔つて溺れてしまつては、まったく何の進歩もないのです。「一点の雲もない」などととり立てて言うこと自体、もうすでにうぬぼれです。それがわからなかつたところに、この僧の未熟な心があつたわけですね。

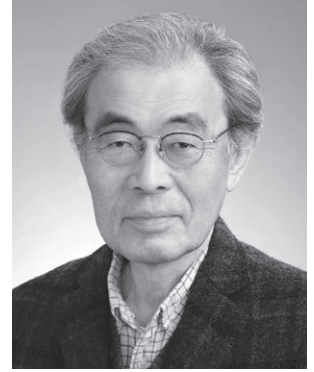
まだまだ続く暑さでございますが、諸大徳の皆さまの更なるご健勝を心より祈念申し上げます。次第でございます。 合掌

# メタバースとは何か

## —仮想空間、観光、そして宗教—

龍谷大学名誉教授  
宗教と社会研究実践センター主任研究員

田 中 滋



コロナ禍で対面でのコミュニケーションが困難となり、オンライン会議システム（Zoomなど）が盛んに利用されるようになった。しかし、多くの人がパソコンに映し出される相手とのコミュニケーションにさまざまな不自由を感じたはずである。

そこで三次元（3D）の仮想空間でよりリアルなコミュニケーションを可能にするメタバースが一躍注目を集めることになった。そこにFacebookのCEOザッカーバーグが社名をMetaに変更し、メタバース事業に社運を架けることを宣言したことが重なり、メタバースの一大ブームが起こった。

### 1. メタバースとは？

#### メタバースの二つのタイプ

メタバースとは、meta（超越・上位）と universe（世界・宇宙）を組み合わせた造語で、インターネット上の三次元（3D）の仮想空間のことである。ユーザーは、その仮想空間でみずからの化身である「アバター」となり、他のユーザーとコミュニケーションを取ることができる。

メタバースは、進化の真つ最中にあり、今後の変化は予測できないが、現在のところ、大きく二つのタイプに分類することができる。

一つは、「異生活空間」としてのメタバースであり、もう一つは、「仕事空間」としてのメタバースである。

前者の「異生活空間」としてのメタバースでは、ユーザーは思い思いのアバター（人や動物、モンスターなど）となって3DCG（コンピュータ・グラフィックス）空間に完全に入り込み、友人たちと遊び、会話を楽しみ、また音楽ライブに参加する。こうした異生活空間としてのメタバースの先駆をなしたのが、Second Lifeのサービスである（2003年運営開始）。Second Lifeは当時の通信環境などの問題などで必ずしも普及に成功したとは言えないが、現在でも100万人のユーザーを抱えているという。現在もつとも多くの人に利用されているサービス（VRChat）では全世界に数百万人のユーザーがいる。

このタイプのメタバースの最大の魅力は、日常とはかけ離れた異世界に没入できること（没入性）と、ユーザーが本当の自分とは異なった年齢や性別あるいは肩書きのアバターとなって他のアバターと交流し別の自分を体験できることにある（アバターとしての異経験）。

一方、仕事空間としてのメタバースでは、異なる場所にいるスタ

ッフを仮想空間に集めることで時空間の壁を取り払ったり、仕事の場所やその対象物（製品や製造機械など）を仮想空間上に正確に再現することによって、仕事の効率や正確性を格段に向上させることが目指される。現実世界の人やモノをよりリアルにあるいはリアル以上にリアルに再現すること（たとえば、機械や臓器などの内部の可視化など）が課題となる。ここでは、リモート会議のリアルな再現は言うに及ばず、工場などの製造現場や建築現場、設計、自動運転や医療現場での手術のシミュレーションなどへとその応用が今まさに拡大しつつある。

この二つのタイプのメタバースは、一方が、言わば「夢の世界」を志向しているの対して、もう一方は、現実世界の「リアル以上のリアルな再現」を目指すというまったく違った方向性をもっている。この相反する二つの方向性をみるとに表現した瞬間が、メタバース最古の原住民を自称するヴァイト・ヤル美少女ねむの『メタバース進化論』（2022年技術評論社）に描かれている。Facebookのザッカーバーグが「そっくりそのまま同じ姿でメタバースの世界に行ける」というデモンストレーションを行なったのに対して、メタバース空間に集まったねむとその友

人たちは「これじゃない！」と大合唱したという。アバターのねむたちはリアルを目指してはいないあくまでもアバターとして生きる「夢の世界」である。

**VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、MR(複合現実)とは？**

メタバースを語る上で必ずと言っていいほど出てくるのが、VR、AR、MRなどといった概念である。VRは仮想現実(virtual reality)、ARは拡張現実(augmented reality)、MRは複合現実(mixed reality)のことであり、VRは3DCGや360カメラなどで撮影された全周囲画像をVRゴーグルを被って体験する技術。ARは現実世界に仮想世界を重ねて現実世界を「拡張」する技術。MRは、VRとARを高度に融合させる技術である。メタバースとVR、AR、MRとの関係は、後者がメタバースを構築する「技術」ということになる。

また、異生活空間と仕事空間のそれぞれのメタバースと関連づけて言えば、後者のメタバースは現実世界とより密接に結び付けるといふ工作上的課題を常に抱えており、その解決のために企業によるVR、AR、MRなどの技術革新が進められる可能性が高いと言えよう。

## 2. 仮想空間文化とツーリズム

活字文化から映像文化へ、そして仮想空間文化へ

20世紀は「映像の世紀」であるとも言われるが、映像が感情を喚起する力は大い。従来の活字文化は理念や論理との親和性が高く、新しい映像文化は感性や伝統との親和性が高い。たとえば、戦時体制下の国々では、ドイツや日本に限らずアメリカにおいてもナショナリズム高揚のために映画が大きな働きをした。また、理念や論理が優越する活字文化において不合理なものが見なされていた儀礼や格式、華美な装飾などがその映像的価値ゆえに再評価されていく。20世紀は活字文化と映像文化がせめぎ合ってきた時代であるが、映像文化の隆盛とともに感性や伝統の再評価が起こった時代でもある。

### 映像文化とツーリズムの隆盛

20世紀が映像の世紀であったことと、同じく20世紀がツーリズム(観光)の時代であったことは無縁ではない。20世紀は企業勃興の時代でもあり、その企業で働く人びとは、その日々の仕事において認知・評価・行動を繰り返すことを強いられる。緊張の連続のうち人間性の疎外までも起こる。ツーリズムは、こうした日々の

緊張から人びとを解放する機会となった。観光地においては認知・評価に比べて行動の比重は低い。仕事とは違い行動は義務ではない。素晴らしい風景や音に出会い、それを堪能すればよい。ツーリズムは感性的である。

そんな観光地を仮想空間に再現し、楽しんでからおうとする動きが盛んである。沖縄県は『ヴァーチャル沖縄』に取り組み、ANAは京都をターゲットにしている。メタバースで観光地の魅力を発信し、より多くの観光客を呼び込もうという取り組みである。

21世紀に起こったメタバース化は、活字文化の理念・論理の時代から映像文化の感性・伝統回帰の時代へと流れを、ツーリズムをバネにさらに強化し、仮想空間文化へとわれわれを誘おうとしている。

## 3. 宗教ツーリズムの台頭とメタバース

宗教の世界は、伝統を色濃く残した世界である。荘厳な儀式、伝統的な装束を身に纏ったの厳しい修行、優美な建築様式の堂宇や社殿など。これらはいずれも映像化にふさわしい。宗教の世界は、まさにツーリズムに多彩な素材を提供している。

スピリチュアリティという言葉に耳をすることの多い今、まさに宗教ツーリズムが注目されている。宗教の世界は、映像文化の感性・伝統回帰の時代にまさにマッチしているし、メタバース化の格好の素材でもある。ANAが京都を舞台にメタバース観光に取り組みようとしているのも頷ける。

### メタバースと寺社拝観

「オーラの喪失と模倣品の優越」  
メタバースと寺社拝観  
ツーリズム産業によるこうした取り組みは、いざれ仏像や寺社の堂宇・社殿、庭園などをメタバースとして再現し、そこに拝観者にアバターとして来てもらおうという取り組みへと繋がっていくと考えられる。ANAは、寺社そのものではないが、京都市と組んで二条城のメタバース化を目指しているという。

これは、メタバースで観光地の魅力を発信し、より多くの観光客を呼び込もうという取り組みと同じであるが、ここで、オリジナルである現実の観光地とそのコピー(複製)であるメタバース空間の違いについて少し考えておこう。  
オリジナルとコピーの関係一般について卓越した視点を提供しているのが、W・ベンヤミンである。彼は、『複製技術の時代における芸術作品』(1936年)において、

唯一無二であるオリジナルがもつ「オーラ（アウラ）」がコピーにおいては喪失することを指摘している。たとえば、人物（オリジナル）のコピーである写真の表層性である。このオーラの喪失は、メタバース空間においてもやはり起こる。メタバース空間では、3DCGや360°カメラ画像によって現実世界（オリジナル）が立体的に再現されるのであるが、それでもメタバース空間はオーラを欠いたコピーでしかない。それゆえにメタバース空間に再現された観光地もやはり「オーラ」を欠いたコピーに止まる。

しかし、一方で、コピーは、オリジナルでは不可能なことを可能にすることもある。たとえば、ペングラントに収められた恋人の写真である。その小さな肖像写真は、恋人と遠く離れた戦場において兵士に微笑みかける。その時、兵士はほんの束の間、恋人と過ごした平和な日常に回帰する。二次元映像である写真でもそんなことができる。

バターとして生まれ変われるという経験さえ可能にしてくれる。コピーが現実（オリジナル）を凌駕するという転倒が起こっている。

D・ブーアステインは、観光ガイドブックくらいしかなかった時代に、観光においては「イメージすなわち巧みに作られた模倣品のほうが、現物よりも美しく輝く」（『幻影の時代』1964年）と述べている。コピーが現実（オリジナル）を凌駕するという転倒は、アメリカではすでに1960年代に指摘されていたのである。

メタバースによって再現された観光地もやはり「模倣品」であるが、その模倣のレベルは観光ガイドブックをはるか凌ぐものとなるであろう。現実の観光地がみずほらしく見えるという倒錯現象すら起こりうることなるう。

メタバースによって再現された観光地は、現実の観光地よりもオリジナルの喪失によって空疎なものとなると同時に、まったく逆に、それをはるかに凌ぐ魅力的なものともなり得る。これは何を意味しているのであろうか。メタバースによって日常的に「旅」に触れる機会をつくり、現実の旅行需要を喚起するという目論見は、そうは簡単に達成されそうもない。

これは、宗教ツーリズムにおいても同じで、寺社の空間をメタバ

ースで再現することが訪れる人びとの増大に繋がるどうかは定かではない。現実の寺社では僧侶や神職によって日々儀礼・儀式が執り行なわれ、年に何回かは信者たちを集めた大規模な行事もおこなわれる。こうした毎日の、毎年の行いや出来事が現実の寺社を唯一無二の存在、オーラに溢れた存在にしている。現実の寺社空間は、コピーのようにオーラを失った存在ではないし、コピーにおいて誇張されるような存在でもない。

以上に述べたことは、メタバースによって再現された寺社にアバターとなって拝観することは宗教行為と言えるのかどうかという近い将来に起こる問いを考えるための素材となるし、さらに言えば、すでにこの問いへの答えを与えてくれているとも言える。

しかしながら、そう割り切ることも実はむずかしい。考えてみれば、仏像は阿弥陀如来や釈迦如来などの化身である。化身、すなわちヒンズー教の言葉を使えば「アバター」なのである。また、寺院の境内は極楽の再現であるとも言われる。仏像や堂宇、そして庭園で構成される寺院そのものは現実世界に存在する素材（木や石、金属など）によってできているがゆえに現実のものなのであるが、同時に極楽世界を再現した仮想空間

でもあるというわけである。

VR、AR、MRといった技術がさらに進化し、われわれの日常そのものが現実空間と仮想空間が入り交じったものとなり、それをなんの疑いもなく「現実」として受け止める時代がまもなくやって来る。現実空間と仮想空間という区別が意味をなさない時代に仮想空間内で起こる参拝や礼拝は宗教的行為ではないと言えるのであるうか。

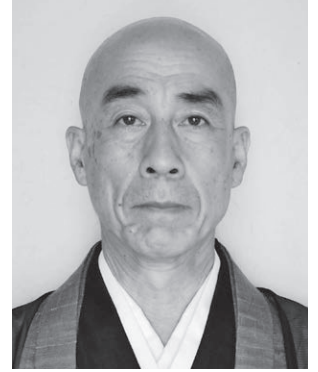
## おわりに

現実空間と仮想空間が入り交じり、それをなんの疑いもなく「現実」として受け止める時代の到来。こう表現すると、まったく新たな世界が生まれるかに思われるが、仮想空間と言っても、やはりそれは物理的な現実空間（オリジナル）を3Dの映像（コピー）で再現したに過ぎない。たしかにそれは、仕事の効率を高めたり、多くの楽しみを人びとにもたらすかもしれない。しかし、より重要なのは、それが人びとの意識を規定している意味世界（世界観）に長期的にみてどのような変化をもたらすかである。注目していきたい。

# 丹波大文字

福知山市仏教会会長

養泉寺 一 常 宗 玄



丹波大文字、あまりにも京都五山の送り火が歴史、規模ともに桁違いであるために、その存在は地域を超えて知られることは無かったように思います。

このたび、このようにして紹介させて頂く機会を得ましたことに、先ず感謝を申し上げます。

丹波大文字は、福知山盆地の西方、姫神山（標高四〇六m）のほぼ頂上付近にあり、市街からは火床のあるおにぎり型の草地を容易に見ることが出来ます。

「大」の字の第一画は四十八メートル、第二画は七十メートル、第三画は八十メートルあり、これは京都の左大文字（金閣寺裏山）とほぼ同じで、火床の数もほぼ同じ五十四基となっています。

ただ、姫神山の山頂付近はかなり切り立った急斜面となっており、「大」の字が立っている、つまり斜めに寝ていないので、遠方からも形がきれいに見えるのが特徴の一つかと思えます。

丹波大文字の火が初めて灯ったのは、昭和二十七年と聞いています。その前年、昭和二十六年に、市内各寺院の檀徒総代、地元の有識者で福知山市仏教振興会が結成され、その事始めとして、戦没者

英霊の鎮魂と平和への誓い、戦後復興への文字通り「灯」となるよう、丹波大文字は計画されました。

創設に関わられた方々は、新しい昭和の大文字ではあるけれども、未永く市民に愛される為に、どの山に、どの高さにも大の字を描けば、より多くの方々に手を合わせていただけるのか、たいへん苦心され選定されたと聞いています。大の字を描く火床の設置には、地元の方々が、借上げが必要となり難航しましたが、最終的に丹波の名刹である長安寺を麓に抱く姫神山に決まりました。

そこから山頂付近の樹木の伐採、火床の整備工事となるのですが、そこで活躍されたのが当時福知山に駐屯していた警察予備隊（現在の陸上自衛隊）でした。当時は携帯電話など夢の道具であり、固定電話さえまだ珍しい時代です。一個分隊が姫神山と市街地を流れる由良川の音無瀬橋とに分かれ、双眼鏡で眺めながら無線で山の隊員に指示。恐らく旗をもって急斜面を何度も上がった下がり下がりしながら文字の形を決めていかれたのではないのでしょうか。

そして翌年の昭和二十七年の八月十六日に、丹波大文字は初めて

の点火となりました。

平成二十六年の九月付けの地方紙「両丹日日新聞」に、第一回目の丹波大文字の事を知る蘆田芳郎様（故人）という方の記事が掲載されておりました。発足から六十二年間に渡り大文字の継続に尽力され、「大」仕事を終えて引退」という表題でインタビューを受けておられます。発足当初のご苦労が偲ばれる記事でしたので、ここに少し引用をさせていただきます。〔蘆田さんは〕地元青年会の役員として、大文字が始まった昭和二十七年から携わった。当時二十七歳。「始まりを知っている唯一の生き証人になりました」見る人の心を落ち着かせてくれる大文字だが、始まった頃は失敗の連続で、山上ではみんなはらはらしていた。

一年目は別の木に燃え移って山火事のようになり、慌てて切った木の枝で叩き消した。二年目はよく雨が降る年で薪が乾きにくく十分に炎が上がらず、三年目は「大」の文字のそばに置いていた草に火が燃え移り、大ではなく「犬」になった。「犬」の大文字と揶揄されましたな」と苦笑いをする。

それから、京都の大文字を視察。



姫鬘山

「刈った草は事前に燃やしておくこと」などのアドバイスを受けたお蔭で四回目以降は大きな失敗もなく、「むしろ京都の大文字よりきれいと評価する人もいます」と胸を張る。(後略)

こうして、多くの方々の熱意とご苦労によって丹波大文字は市民の行事として少しずつ定着していく訳ですが、当初より大文字の維持管理は、姫神山の麓の地域の方々の手に委ねられました。

特に、新庄地区、奥野部地区の有志の方々が中心となって大文字保存会を結成し、年間通して樹木の枝を払い、草を刈り、火床を整備

し、地域が担う大仕事としての誇りをもって丹波大文字を守り抜いてくださっています。平成五年には資材運搬用のモノレールが新設され、薪などの搬上に活躍し、負担はすこし軽減されました。しかし、近年シカによって斜面の笹などが食害に遭い、豪雨の度に火床が崩落、以前に増して管理が難しくなっているという報告を聞いています。そのような困難な状況の中でも、山の維持管理に知恵を出し合い、日々努力をされています。

この丹波大文字の山での作業は大文字保存会の方々の役割が大きいのですが、大文字法要、ならびに大文字の経木の配布などは福知山市仏教振興会が担っています。仏教振興会では、四月から役員を選定、六月に入って経木(約二万枚)を地区毎に袋詰めし、各自自治会に協力していただく為に挨拶状も作成し手渡しで配布します。

ただ近年、どの地域でも難しくなっているように、このような伝統行事にまつわる協賛金の集まりは減少傾向にあり、近い将来に運営がままならなくなるのではと懸念されています。

丹波大文字は今年で七十一回目を迎えます。六十八回まで一度も

消えることなく灯されてきた丹波大文字の火は、残念ながら、令和二年、令和三年と蔓延したコロナウイルスの為に準備も難しく、送り火を灯すことは出来ませんでした。しかし、そのような時に、京都の大文字は、中央一点の送り火を明々と灯し、その姿がテレビで映し出されるのを見ると、「さすがは京都人、知恵があるなあ」と心底感心させられます。

これこそが、伝統の力です。近年、伝統行事は、高齢化のために人手不足、経費の捻出が困難などの理由で、存続できなくなるところも少なくないと聞いておられます。丹波大文字も例外ではなく、二年間のプランクで失われた人々の関心をどのようにして取り戻すか、という課題を抱えながら、今あるもので何とか今年を乗り切らなくてはなりません。そのためには、まずは市民の皆さんに丹波大文字をその準備過程から様々なメディアを通して知って頂く事が肝要なのではないかと思っております。

伝統行事も目線を変えれば現代の若者たちの心を捉えるイベントに変貌する要素を多分にはらんでいます。たとえば外国の方が各地

の伝統行事を素直な目で見て感動し、その素晴らしさを改めて私たちに伝え教えて頂くという事例を見れば明らかです。

いまだに閉塞感から解放されない今日、私たちも、頑なに行事を踏襲するだけでなく、創意工夫を常に盛り込みながら、地域の方々と共に、全てを見つめ直し再編成していく必要があるように感じます。それはとても難しい事ですが、先にご紹介した丹波大文字発足当初の方々の市民の安寧を願う真摯な心、そして何より前例にとらわれない自由な姿勢を私たちは今こそ学び、そして大切に次代につないで行きたいと願います。

日本の宗教は多くの年中行事、地域の伝統行事と密接に関わり、土着の習俗によってその心を伝え培ってきたという側面があるかと思えます。地域社会の中に宗教的心情を培う土台がなくならないようにするのも、又私たちのような会が担うべき役割のような気がしております。

仏教の智慧という無限のツールを、私たちはもつと日常生活の中や社会の中で活かし、変化を恐れず外に向かって発信していく必要をこれまで以上に感じています。



事業・活動報告

令和三年四月一日〜令和四年三月三十一日

令和三年

四月 三日 聖徳太子一千四百年御聖諱法要参列 於 法隆寺  
 四月 十日 「牧泰壽経文大作展」浄土への挨拶」出席 於 大分県立美術館  
 四月 十二日 子供花まつり事業仏教系保育園・福祉施設に菓子等寄贈 於 京都府宗教連盟常任委員会出席 於 立正佼成会京都普門館  
 五月 十日 長澤事務局長が単任新会長を訪問(綾部・加悦谷・丹波町) 於 京都府宗教連盟常任委員会出席  
 五月 二十五日 京都府宗教連盟常任委員会を訪問(綾部・加悦谷・丹波町) 於 京都府宗教連盟常任委員会出席  
 五月 二十七日 京都府宗教連盟常任委員会を訪問(綾部・加悦谷・丹波町) 於 京都府宗教連盟常任委員会出席  
 六月 五日 宗教と社会実践センター第八回研究会開催 於 相国寺承天閣美術館  
 六月 十一日 明日の京都文化遺産プラットフォーム令和三年度理事會出席 於 立命館大学朱雀キャンパス  
 六月 二十二日 京都文化交流コンベンションビューロー 第二回評議員会出席 於 ホテルグランヴィア京都

六月 二十二日 京都府宗教連盟令和三年度第一回定例理事会開催 於 相国寺會議室  
 六月 二十二日 京都府宗教連盟令和三年度第一回定例評議員会開催 於 相国寺會議室  
 六月 二十四日 京都府宗教連盟令和三年度第一回定例評議員会開催 於 相国寺會議室  
 六月 二十五日 文化遺産を未来に「つながる森づくり」会議二〇二二年度総会出席 於 京都府警察学校講堂  
 七月 七日 京都府宗教連盟令和三年度委員総会出席 於 京都府警察学校講堂  
 七月 七日 近畿宗教連盟令和三年度第一回常任理事会出席 於 立正佼成会京都普門館  
 七月 十日 水戸市教育委員会主催世界遺産登録推進フォーラム「近世日本の教育遺産群を世界遺産に」出席 於 立正佼成会京都普門館  
 七月 二十九日 京都市中央斎場焼骨灰供養法要開催 於 水戸市総合教育研究所  
 七月 三十一日 当会相談役安養寺名誉住職北川隆法師遷化 於 安養寺  
 八月 三日 「京仏」夏季号を報發送 於 京都府宗教連盟常任委員会  
 八月 三日 たなばた願文お焚きあげ・孟蘭盆会採燈大護摩供養法要開催 於 清水寺南苑  
 八月 十六日 常務理事會開催 於 聖護院門跡  
 八月 二十六日 宗教と社会実践センター第九回研究会開催 於 聖護院門跡  
 八月 二十九日 西本願寺音舞台(無観客開催)出席 於 相国寺承天閣美術館  
 九月 六日 京都国立近代美術館企画展「発見された日本の風景」 於 西本願寺  
 九月 九日 美しかりし明治の旅(内覧会)出席 於 京都国立近代美術館  
 九月 十一日 世界小児がん啓発キャンペーン開催東寺五重塔ライトアップ出席 於 東寺  
 九月 二十七日 京都市深草墓園秋季慰霊法要参列 於 京都市深草墓園  
 九月 二十九日 全日本仏教会公開WEBシンポジウム「被害者・被害者家族と共にあるなかで」出席 於 京都府宗教連盟常任委員会  
 九月 三十日 京都市中央斎場秋季供養法要開催 於 相国寺承天閣美術館  
 十月 一日 総本山園城寺(三井寺)第一六三代長史・天台寺門宗前管長 於 園城寺勸学院  
 十月 五日 福家英明師本葬参列 於 園城寺勸学院  
 十月 十二日 宇治市観光協会発案寺院共通拝観券について櫻井氏の意見を持参 於 平等院  
 大阪府宗教連盟令和三年度理事會出席 於 住吉大社吉祥殿

\*は当会主催の行事・会合

十月 十三日 園部町仏教会新会長を訪問  
 十月 二十七日 大分県日田市市長来訪 於 京都府宗教連盟常任委員会  
 十一月 一日 古典の日フォーラム二〇二二開催 於 京都劇場  
 十一月 八日 明日の京都文化遺産プラットフォーム第一回フォーラム  
 十一月 十日 「感染症を乗り越えよう」出席 於 立命館大学朱雀キャンパス  
 十一月 十七日 全日本仏教会第三回理事會WEB会議出席 於 立命館大学朱雀キャンパス  
 十一月 十七日 大阪府仏教会第五六回仏教徒大会出席 於 ホテル日航大阪  
 十一月 二十四日 当会元理事江上泰山師本葬参列 於 真如寺  
 十二月 二日 参勤僧會議開催 於 順正寺  
 十二月 六日 成道會並びに永年勤続住職表彰式開催 於 泉涌寺  
 十二月 七日 常務理事會開催 於 聖護院門跡  
 十二月 十一日 宗教と社会実践センター第一〇回研究会開催 於 嵐山界隈  
 十二月 十一日 宗教と社会実践センター第一〇回研究会開催 於 嵐山界隈  
 十二月 十七日 宗教と社会実践センター運営會議開催 於 相国寺承天閣美術館  
 十二月 十七日 京都市門川市長訪問二条城音舞台開催依頼 於 京都市役所  
 令和四年  
 一月 十二日 第八回京都テロ対策ネットワーク総会出席 於 京都市役所  
 一月 二十四日 第六回「健康長寿のまち・京都市民会議」WEB総会出席 於 京都府警察学校講堂  
 一月 二十五日 「建仁寺に想いを寄せて」京都文化遺産対談開催 於 京都市役所  
 一月 二十七日 令和三年度第三回定例理事会開催 於 建仁寺  
 二月 一日 「京仏」新年号を報發送 於 京都府宗教連盟常任委員会  
 二月 六日 明日の京都文化遺産プラットフォームネットワーク会議出席 於 立命館大学朱雀キャンパス  
 二月 十四日 福知山市仏教会新会長を訪問 於 養泉寺(福知山)  
 二月 十五日 京都東山花灯路実行委員会出席 於 東山区役所  
 二月 十八日 全日本仏教会WEB研修会出席 於 京都府宗教連盟常任委員会  
 二月 二十八日 京都東山花灯路開催(二月一三日まで開催) 於 東山界隈  
 三月 四日 明日の京都文化遺産プラットフォーム無形文化遺産シンポジウム出席 於 立命館大学朱雀キャンパス  
 三月 五日 令和三年度加盟団体顧問弁護士連絡会橋口顧問弁護士出席 於 立命館大学朱雀キャンパス  
 三月 八日 令和三年度加盟団体顧問弁護士連絡会橋口顧問弁護士出席 於 立命館大学朱雀キャンパス  
 三月 十一日 株井筒八ッ橋本舗津田佐兵衛氏お別れの会参列 於 仁和寺御室会館  
 三月 十五日 全日本仏教会第三回理事會WEB会議出席 於 立命館大学朱雀キャンパス  
 三月 十八日 京都文化交流コンベンションビューロー第二回評議員会出席 於 京都府宗教連盟常任委員会  
 三月 十九日 京都市深草墓園春季慰霊法要参列 於 京都市深草墓園  
 三月 二十二日 京都府宗教連盟令和三年度第一回定例理事会開催 於 京都市深草墓園  
 三月 二十九日 京都市観光協合理事會出席 於 京都市観光協合理事會  
 三月 二十九日 令和三年度第四回定例理事会開催 於 相国寺承天閣美術館  
 三月 二十九日 令和三年度第二回定例評議員会開催 於 相国寺承天閣美術館  
 三月 二十九日 常務理事會開催 於 相国寺承天閣美術館  
 三月 三十日 三千院門跡門主小堀光實師第六十三世住職晋山式法會参列 於 ホテルグランヴィア京都

# 令和 3 年度 一般財団法人京都仏教会決算報告書

前期繰越金 1,159,628円  
 当期歳入総額 66,199,777円  
 当期歳出総額 65,697,372円  
 次期繰越金 1,662,033円

自 令和 3 年 4 月 1 日  
 至 令和 4 年 3 月 31 日

【歳入の部】

(単位：円)

款 項 目	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
	前 期 繰 越 金	1,159,628	1,159,628	0
1	会 費 収 入	3,200,000	2,964,000	- 236,000
1	会 費 ・ 賛 助 金	3,200,000	2,964,000	- 236,000
1	一 般 寺 院 会 費	2,400,000	2,238,000	- 162,000
2	賛 助 会 費	800,000	726,000	- 74,000
2	活 動 協 力 金 収 入	30,950,000	30,213,660	- 736,340
1	教 化 伝 道	27,100,000	26,336,790	- 763,210
1	参 加 勤 行	17,000,000	17,210,000	210,000
2	骨 灰 法 要	300,000	316,000	16,000
3	墨 蹟 展 覧	200,000	0	- 200,000
4	護 摩 木 供 養	2,300,000	1,680,790	- 619,210
5	花 ま つ り	0	0	0
6	観 光 推 進	3,000,000	3,030,000	30,000
7	世 界 文 化 遺 産	1,500,000	1,300,000	- 200,000
8	明日の京都文化遺産プラットフォーム	2,800,000	2,800,000	0
2	広 報 ・ 出 版	50,000	76,870	26,870
1	開 運 曆	50,000	76,870	26,870
3	宗 教 と 社 会 研 究 実 践 セ ン タ ー 協 力 金	3,800,000	3,800,000	0
1	研 究 本 刊 行 協 力 金	3,800,000	3,800,000	0
3	特 別 寺 院 協 力 金	30,940,000	31,480,000	540,000
4	雑 収 入	60,000	28,404	- 31,596
1	雑 収 入	60,000	28,404	- 31,596
1	運 用 収 入	30,000	17,109	- 12,891
2	雑 収 入	30,000	11,295	- 18,705
	未 収 金		1,500,000	1,500,000
	預 り 金 の 増 加		13,713	13,713
	合 計	66,309,628	67,359,405	1,049,777

【歳出の部】

(単位：円)

款 項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	
1	事 務 局 費	35,997,600	36,283,946	286,346
1	人 件 費	26,500,000	28,149,546	1,649,546
1	職 員 俸 給	22,000,000	21,664,475	- 335,525
2	厚 生 費	3,400,000	3,409,409	9,409
3	通 勤 費	600,000	575,640	- 24,360
4	退 職 準 備 金	500,000	2,500,022	2,000,022
2	管 理 費	7,247,600	6,493,967	- 753,633
1	通 信 ・ 運 搬 費	350,000	320,859	- 29,141
2	印 刷 費	300,000	380,215	80,215
3	備 品 費	600,000	394,960	- 205,040
4	消 耗 品 費	300,000	221,801	- 78,199
5	借 館 費	1,887,600	1,887,600	0
6	水 道 ・ 光 熱 費	160,000	167,728	7,728
7	旅 費 ・ 交 通 費	600,000	584,648	- 15,352
8	諸 会 負 担 金	800,000	534,200	- 265,800
9	顧 問 報 酬	1,600,000	1,547,800	- 52,200
10	営 繕 管 理 費	150,000	14,211	- 135,789
11	そ の 他 諸 経 費	500,000	439,945	- 60,055

(単位：円)

款	項	目	科	目	予	算	額	決	算	額	増	減						
	3		渉	外	・	旅	費	1,300,000	1,017,895		-	282,105						
		1	渉	外		費		1,000,000	662,412		-	337,588						
		2	慶	弔		費		100,000	128,952			28,952						
		3	交	際		費		200,000	226,531			26,531						
	4		諸	会	議	費		700,000	397,074		-	302,926						
		1	単	仏	・	参	勤	会	議			-	31,000					
		2	そ	の	他	諸	会	議				-	271,926					
	5		調	査		費		250,000	225,464		-	24,536						
		1	資	料	収	集	費		225,464		-	24,536						
2			活	動	経	費		29,080,000	27,454,006		-	1,625,994						
	1		教	化	伝	道	活	動	14,900,000	14,013,280		-	886,720					
		1	参	加	勤	行		8,500,000	8,787,081			287,081						
		2	骨	灰	法	要		1,600,000	1,351,012		-	248,988						
		3	墨	蹟		展		200,000	0		-	200,000						
		4	護	摩	木	供	養	800,000	1,179,401			379,401						
		5	観	光	推	進		1,400,000	1,116,312		-	283,688						
		6	仏	教	諸	行	事	関	連			-	268,064					
		7	花	灯	路	事	業	200,000	200,000			0						
		8	花	ま	つ	り		1,200,000	580,460		-	619,540						
		9	成	道		会		300,000	298,198		-	1,802						
		10	永	年	勤	続	表	彰	300,000	444,405			144,405					
		11	国	際	文	化	交	流	費			-	75,525					
	2		広	報	・	出	版	活	動	2,580,000	2,147,564		-	432,436				
		1	曆	・	諸	出	版	他	250,000	120,775		-	129,225					
		2	機	関	誌	発	行	2,300,000	2,013,851		-	286,149						
		3	ホ	ー	ム	ペ	ー	ジ	運	営	費		-	17,062				
	3		宗	教	と	社	会	実	践	セ	ン	タ	ー	6,600,000	6,552,228		-	47,772
		1	研	究	本	刊	行	費	用	4,000,000	4,269,876			269,876				
		2	研	究	会		費	700,000	803,060			103,060						
		3	旅	費	交	通	費	600,000	437,428		-	162,572						
		4	研	究	員	諸	費	用	1,300,000	1,041,864		-	258,136					
	4		そ	の	他			5,000,000	4,740,934		-	259,066						
		1	文	化	財	保	護	対	策	費			-	70,000				
		2	世	界	文	化	遺	産	1,500,000	1,389,578		-	110,422					
		3	明	日	の	京	都	協	力	金	3,000,000	3,000,000		0				
		4	蘇	る	羅	城	門	推	進	事	業	費		-	8,644			
		5	時	局	対	策	金	100,000	30,000		-	70,000						
			前	払	費	用	の	増	加				274,681					
			未	払	い	費	用		1,682,198			1,682,198						
			保	管	預	金	利	息		2,541			2,541					
			予	備		費		72,400	0		-	72,400						
			次	期	繰	越	金	1,159,628	1,662,033			502,405						
			合	計				66,309,628	67,359,405			1,049,777						

別紙の通り報告します。

令和4年5月23日  
一般財団法人京都仏教会

理 事 長 有 馬 頼 底  
評議員(財務担当) 大 西 真 興  
事 務 局 長 長 澤 香 静

帳簿、証票書類を監査の結果、別紙の通り相違ないことを確認しました。

令和4年5月23日  
一般財団法人京都仏教会

監 事 川 村 俊 弘  
監 事 小 澤 昭 美

# 令和 4 年度 事業 計画

## 〈総務部〉

〈\*は新規事業〉

1. 諸 会 議	1. 役 員 会 2. 各種会議 3. 諸団体連絡会議	1. 理事会 年 4 回 2. 評議員会 年 1 回以上 3. 参事会 随時 1. 参勤僧会議 年 2 回以上 1. 全日本仏教会 2. 近畿宗教連盟 3. 京都府宗教連盟 4. 日本宗教連盟 5. 京都商工会議所 6. 京都市観光協会 7. 京都文化交流コンベンションビューロー 8. 東京都宗教連盟 9. 明日の京都 文化遺産プラットフォーム
2. 広報・調査	1. 広 報 2. 調 査	1. 会報の刊行 年 2 回 2. 会員への情報提供 (随時) (税務・環境問題・法人問題など) 3. 仏教会ホームページ運営 (宗教と社会研究実践センターとの連携) 1. 各種調査・研究・統計・資料収集 (時事問題の分析)
3. 渉 外	1. 慶 弔 外 2. 渉 外	1. 慶弔 (本山寺院及び一般関係) 1. 中央省庁・府市行政との交流 (文化庁・観光庁・林野庁) 2. 京都にて開催の行事・国際会議等への協力
4. 時 事 対 策	1. 組織強化	1. 加入寺院・未組織地域の組織化 2. 賛助会員強化

## 〈事業部〉

1. 仏教文化・調査・研究 広宣	1. 仏教文化の啓蒙・ 広宣・保護	1. 仏教文化の研究などの奨励・協賛 2. 京都文化財団との交流
2. 教化・伝道 事業	1. 仏教美術・文物紹介 2. 講演活動 3. 音舞台シリーズ 4. 仏教思想の実践活動	1. 仏教番組の企画監修 (毎日放送において「京都知新」、「京都プロジェクト室」) 2. 大日本印刷の京都常設展への監修 1. 各宗派管長による仏教文化講演会の全国開催 * 1. 本年度第 35 回は二条城にて開催予定 1. 地域福祉活動・青少年育成 (授産施設「のぞみ学園」、福祉施設・仏教系老人ホーム、保育園への慰問) 2. カウンセリング (信仰問題・情報提供) 3. 文化財を守り伝える京都府基金・だいすき京都 (京都市) 4. 災害募金箱の設置 1. 令和 4 年末台湾長流美術館にて墨蹟展開催予定
	5. 国際文化交流	

	6. 仏教諸行事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. お花まつり（おしゃかさまをを讃える夕べは5/16開催） こども花まつり</li> <li>2. 盂蘭盆会大護摩供法要・成道会</li> <li>3. 京の七夕神仏合同法要（清水寺）9月最終日曜日実施</li> </ol>
	7. 合同慰霊行事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 参加勤行（中央斎場の読経僧）</li> <li>2. 深草墓園（京都府宗教連盟共催）</li> <li>3. 春秋彼岸焼骨灰供養法要（春は7月に延期・秋は執行予定） （京都中央葬祭業協同組合共催）</li> </ol>
3. 寺院運営援助事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 寺院援助活動</li> <li>2. 寺院運営研修案内</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宗教法人の財務・税務及び法律対策（顧問弁護士・税理士の派遣）</li> <li>2. 永年勤続住職の表彰（50年 知事表彰 30年 理事長表彰）</li> <li>1. 人権研修会（京都府・全日仏）</li> </ol>
4. 広報・出版事業	1. 定期刊行物	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会報 年2回</li> <li>2. 開運暦・図書紹介</li> </ol>
5. 観光推進事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種関連事業</li> <li>2. 役員会・諸団体連絡会議</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 京都歴史遺産寺院企画（JR東海）</li> <li>2. 祇園白川ライトアップ事業</li> <li>3. 京都府内北部・南部観光開発（京都府と連携）</li> <li>1. 観光推進事業部会議</li> <li>2. 京都市観光協会との会議</li> <li>3. 各種観光関連業界との会議</li> </ol>
6. その他諸事業	1. 各種関連協議会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議</li> <li>2. 外来種生物の文化財に与える影響について（関西野生生物研究所）</li> <li>3. 明日の京都 文化遺産プラットフォーム（立命館大学）</li> <li>* 4. 蘇る羅城門推進委員会の財団化検証（明日の京都）</li> </ol>

### 〈宗教と社会研究実践センター〉

1. 諸会議	1. 各種会議	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究会 年2回以上</li> <li>2. 運営委員会 随時</li> <li>3. 関連団体との協議</li> </ol>
2. 広報・調査研究・啓蒙活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 広 報</li> <li>2. 宗教法人法の研究・啓蒙活動</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究本の刊行 年1回</li> <li>* 「宗教法人非課税の根拠」 —固定資産税をめぐる社会情勢を中心として—</li> <li>1. 各本山、地方の教区での宗教法人法に関する研修会への協力</li> <li>2. 包括宗教法人管理者研究協議会 宗教法人実務者研修会（文化庁）</li> </ol>
3. 時事対策	1. 時事対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 寺院の厚生年金加入問題・持続化給付金問題</li> <li>2. 寺院の「公益性」問題</li> <li>* 3. 寺院拝観（キャッシュレス）システムの調査・研究・資料収集</li> <li>* 4. 寺院配信事業の調査・研究・資料収集</li> </ol>

# 令和 4 年 度 予 算 書

当期歳入総額 65,940,000円

当期歳出総額 65,940,000円

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

【歳入の部】

(単位：円)

款 項 目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
1	会 費 収 入	3,200,000	3,200,000	
1	会 費 ・ 賛 助 金	3,200,000	3,200,000	
1	一 般 寺 院 会 費	2,400,000	2,400,000	¥2,000 (1口)
2	賛 助 会 費	800,000	800,000	¥3,000 (1口)
2	活 動 協 力 金 収 入	31,850,000	30,950,000	
1	教 化 伝 道	28,000,000	27,100,000	
1	参 加 勤 行	17,000,000	17,000,000	
2	骨 灰 法 要	400,000	300,000	
3	墨 蹟 展 覧	200,000	200,000	
4	護 摩 木 供 養	2,300,000	2,300,000	
5	花 ま つ り	1,000,000	0	
6	観 光 推 進	3,000,000	3,000,000	
7	世 界 文 化 遺 産	1,300,000	1,500,000	
8	「明日の京都」文化遺産プラットフォーム	2,800,000	2,800,000	
2	広 報 ・ 出 版	50,000	50,000	
1	開 運 暦	50,000	50,000	
3	宗 教 と 社 会 研 究 実 践 セ ン タ ー 協 力 金	3,800,000	3,800,000	
1	「宗教法人非課税の根拠」- 固定資産税をめぐる社会情勢を中心として - 刊行協力金	3,800,000		
	「監視国家と宗教活動」- キャッシュレス社会以降のデジタル化の中で - 刊行協力金		3,800,000	
3	特 別 寺 院 協 力 金	30,830,000	30,940,000	
4	雑 収 入	60,000	60,000	
1	雑 収 入	60,000	60,000	
1	預 金 利 息	30,000	30,000	
2	雑 収 入	30,000	30,000	
	預 金 取 崩			
	歳 入 合 計	65,940,000	65,150,000	

【歳出の部】

(単位：円)

款 項 目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
1	事 務 局 費	36,247,600	35,997,600	
1	人 件 費	27,700,000	26,500,000	
1	職 員 俸 給	23,000,000	22,000,000	事務局員 3 名他 2 名
2	厚 生 費	3,600,000	3,400,000	社会保険料等
3	通 勤 費	600,000	600,000	
4	退 職 準 備 金	500,000	500,000	
2	管 理 費	6,497,600	7,247,600	
1	通 信 ・ 運 搬 費	300,000	350,000	郵便・宅配便等
2	印 刷 費	300,000	300,000	コピー機保守料他
3	備 品 費	300,000	600,000	什器・車両関係
4	消 耗 品 費	300,000	300,000	

(単位：円)

款	項	目	科	目	本年度予算額	昨年度予算額	備	考							
		5	借	館	費	1,887,600	1,887,600	事務所家賃							
		6	水	道	・	光	熱	費	水道・電気						
		7	旅	費	・	交	通	費							
		8	諸	会	負	担	金		全日仏・府宗連等						
		9	顧	問	報	酬			弁護士・会計士・司法書士						
		10	営	繕	管	理	費								
		11	そ	の	他	諸	経	費	BK手数料を含む						
	3		渉	外	・	旅	費								
		1	渉	外	費										
		2	慶	弔	費										
		3	交	際	費										
	4		諸	会	議	費									
		1	単	仏	・	参	勤	会	議						
		2	そ	の	他	諸	会	議							
	5		調	査	費										
		1	資	料	収	集	費		調査・研究を含む						
2			活	動	経	費									
	1		教	化	伝	道	活	動							
		1	参	加	勤	行			参勤僧8名法礼等						
		2	骨	灰	法	要			年3回開催						
		3	墨	蹟	展				台湾長流美術館にて 年末に開催予定						
		4	護	摩	木	供	養								
		5	観	光	推	進			音舞台会所お礼を含む						
		6	仏	教	諸	行	事	関	連						
		7	花	灯	路	事	業								
		8	花	ま	つ	り			子ども花まつり・教化資料等 寺院・福祉施設配布等含む						
		9	成	道	会										
		10	永	年	勤	続	表	彰							
		11	国	際	文	化	交	流	費						
	2		広	報	・	出	版	活	動						
		1	曆	・	諸	出	版	他							
		2	機	関	誌	発	行		年2回発行						
		3	ホ	ー	ム	ペ	ー	ジ	運	営					
	3		宗	教	と	社	会	研	究	実	践	セ	ン	タ	ー
		1													
		2													
		3													
		4													
		5													
		6													
	4		そ	の	他										
		1	文	化	財	保	護	対	策	費				文化財の森等	
		2	世	界	文	化	遺	産						JR東海対談企画等	
		3	明	日	の	京	都	協	力	金					
		4	蘇	る	羅	城	門	推	進	事	業	費			
		5	時	局	対	策	金								
			予	備	費										
			歳	出	合	計									

# 京都府 京都未来の匠 「技の継承」事業

## — 各ご寺院所蔵の未指定文化財の修理・復元 —

### 1 目 的

伝統産業の未来を切り開くため、京都が文化的に保持してきた繊細かつ高度なもののづくりを通して、失われつつある貴重な伝統産業の技術・技法を次世代へ継承するとともに、次代を担う後継者の育成を図る。

### 2 内 容

祇園祭各山鉾保存会や京都府内の社寺等が所有・管理する貴重な文化資料の復元新調等を通じて、若手職人（京もの認定工芸士）等が京の名工等の指導を受けながら、高度かつ稀少な技術の修得・技術向上を目的とした技術の研鑽・修得を行う。

### 3 事業主体

各山鉾保存会、社寺等

### 4 対象経費

染織品及び工芸品等の文化資料の復元新調等に係る経費  
(人件費、材料費、事務費等)

### 5 補助率

2 / 3 以内

### 6 補助限度額

5, 000千円 / 物件

ご相談は京都仏教会へご連絡下さい  
電話 075-223-6975



## 寺院会費

当会もおかげさまをもちまして仏教諸行事、文化福祉、研究活動等順調にかつ積極的に推移してきております。これもひとえにご寺院各位のご理解・ご協力の賜物と存じます。今後はますます京都が宗教都市として発展しつづけるために、布教・広宣を行い、また多様化する現代社会の情報提供や宗教法人に関する諸問題につきましてもお役に立てるようはかつて参りたいと存じます。つきましては通信費の一部として令和4年度分の会費を同封の郵便振替にてご納入の程、よろしくお願い申し上げます。

## 賛助会費

各界一般会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。平素は何かと本会の活動に対し、ご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして賛助会員につきましては年々増え続けておりまして有り難いことと存じます。当会も各界のみなさまとともにこの歴史と伝統のある京都において様々に交流や文化事業を通じて、よりよい京都に発展すべく努力して参りたいと存じます。当会の会報を年二回お送り申し上げますことや諸行事のご案内をみなさまとの情報交換の場とし、今後も活動をしてゆきたいと存じます。各位におかれましては、なにとぞこの趣旨にご賛助賜り令和4年度分の賛助会費のご納入をよろしくお願い申し上げます。なおご納入は同封の郵便振替にてよろしくお願

発行日 令和四年八月一日

発行所 一般財団法人 京都仏教会

〒602-0898 京都市上京区今出川通

烏丸東入相國寺門前町

六三六一一

電話 (〇七五)二三三―六九七五


FAX (〇七五)二三三―六九七六

印刷所 (株)精巧社

# 都 古

税理士法人

〒600-8431 京都市下京区綾小路通室町西入る  
善長寺町139番地AMI四条烏丸ビル405号  
TEL・FAX: 075 (352) 7778  
E-mail: nakasasa@bridge.ocn.ne.jp




## 伝統の心を映した 古都のやすらぎ

ご予約・お問い合わせは

◆東急ホテルズ予約センター◆

東京予約センター Tel.(03)3462-0109  
 札幌予約センター Tel.(011)533-1090  
 名古屋予約センター Tel.(052)202-1090  
 大阪予約センター Tel.(06)6314-1090  
 福岡予約センター Tel.(092)262-1099

ご宿泊や、おくつろぎのひとつに  
また、会合などさまざまなお集まりに、  
お気軽にご利用ください。



### 京都 東急ホテル

〒600-8519 京都市下京区堀川通五条下ル(西本願寺北側)  
 Tel: 075-341-2411 Fax: 075-341-2488  
 www.kyoto-h.tokyuhotels.co.jp



35<sup>th</sup> anniversary

なご すみか  
 ころろ和める、ここだけの栖

洛北の豊かな自然の中で  
 ごゆっくりとお過ごしください。



The Prince  
Kyoto Takaragaike

### ザ・プリンス 京都宝ヶ池

〒606-8505 京都市京都市左京区宝ヶ池  
 TEL : 075-712-1111



**Seibu Group** でかける人も、ほほえむ人へ。



石 材

北 尾 石 材

有限会社

URL:www.good-stone.com

大原店 / 八潮店 / 市原野店 / 京北店

TEL.075-781-9523 FAX.075-781-0510

〒608-8225 京都市左京区東大路百萬遍上る東側

京石塔  
石工事  
記念碑



株式  
会社

## 石 寅®

石工事・土木工事・造園工事（京都府知事認可）

本 店 (〒616-8376) 京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町1-10  
 電話 (075) 881-1481 番 FAX (075) 881-1480 番

新丸太町店 (〒616-8305) 京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町33-2  
 電話 (075) 882-2124 番 FAX (075) 882-2128 番

丹波営業所 (〒622-0211) 京都府船井郡京丹波町上野中野31-1  
 電話 (0771) 82-2681 番 FAX (0771) 82-2751 番

京丹波店 (〒622-0213) 京都府船井郡京丹波町須知天神18-1  
 電話 (0771) 89-1481 番 FAX (0771) 89-1480 番

石寅ホームページ URL:http://www.ishitora.co.jp/

絵画・墨蹟・一般表具 / 仏画・仏具修理 / 文化財調査

御本山御用達・京表具・古文化財保存修理研究所



www.koetsuan.com


こう えつ あん

# 浩 悦 庵

有限会社矢口浩悦庵

文化財 IPM  
赤外線調査  
高精細複製印刷

〒602-8025  
京都市上京区衣棚通丸太町上る今葉屋町 318 番地  
本社・工房 Tel.075-254-6021/ Fax.075-254-6022 東京営業所 Tel. 042-442-0177




桑は  
京都の  
地域資源

桑葉には・・・  
血糖値の上昇を  
抑えるニコチンと  
成分が含まれおり、  
これは桑葉以外には  
見つかっていない  
成分です。

ビタミンや  
食物繊維といった  
わたしたちの体にも  
欠かせない成分も  
含まれています。


生活習慣を見直し  
たい方はぜひ  
ぜひお試しください。



農林水産省  
経済産業省 認定

玄圃瑶桑  
げんぽようそう

桑に関するお問い合わせは・・・



株式会社おのみやす本舗

TEL 075-791-1728    http://www.onomiyasu.co.jp  
FAX 075-791-1745    info@onomiyasu.co.jp

**京表具**

表具全般 古書画修復

# 前田秀畹堂

〒604-8121  
京都市中京区柳馬場通錦小路  
TEL.FAX.075(221)5754

社寺建築設計施工

## 伸和建設株式会社

代表取締役 北尾行弘

〒615 京都市右京区西院上花田町21  
-0007 (西大路三条西入ル南側)  
電話 075-311-0054 (代表)  
FAX 075-322-0152



世界の歴史都市、  
京都の中央に位置し、  
世界文化遺産「二条城」の前に佇む  
ANA クラウンプラザホテル京都。



**ANAクラウンプラザホテル京都**

〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前  
Tel 075-231-1155  
www.anacpkyoto.com



京都人さえもが恋するホテル。

## 京都ブライトンホテル

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売(御所西)  
TEL.075-441-4411  
<http://kyoto.brightonhotels.co.jp>

# 家族葬は公益社

家族葬にぴったりの式場があります

北ブライトホール / 中央ブライトホール / 南ブライトホール / 西ブライトホール  
山科ブライトホール / 伏見ブライトホール / 向島宇治ブライトホール / 大津ブライトホール  
[貸切型家族葬ホール] 別邸 向島宇治 / 別邸 大津 / 守山ホール

お葬式 家族葬

## 公益社

0120-004-200  
ご葬儀お申込み 無料相談 24時間受付

詳しくはホームページで  
ブライトホール

## 葬 儀

— 人生の終り、もうひとつの門出を美しく —



もよりの営業所へご連絡ください。(24時間営業)  
寝台自動車のご用命も承ります。

- 京都営業所 ☎ (075) 682-4444
- 宇治営業所 ☎ (0774) 32-4242
- 高槻営業所 ☎ (072) 682-1121
- 大津営業所 ☎ (077) 524-4444
- 亀岡営業所 ☎ (0771) 22-0042

24時間365日 無料受付

まずはお気軽に  
お電話ください。



0120-094-110

お供養 110番

セレマ

検索

経済産業大臣認可 / 全日本葬祭業協同組合連合会加盟

京都中央葬祭業協同組合員名簿

<http://www.kyosokyoku.jp/>



信頼と安心の

全葬連 葬祭サービスガイドライン

●事前相談 ●サービス内容の説明 ●明瞭価格 ●アフターサービス

京葬協は、葬祭サービスガイドラインを遵守いたします

会 社	代 表 者	電 話	所 在 地	会 社	代 表 者	電 話	所 在 地
㈱ まる い ち	小林 正明	075-441-6254	上京区千本上立売通作庵町518	(南)城陽葬祭杉村	杉 村 等	0774-52-2140	城陽市久世南垣内116
(南)京 都 日 葬	九谷田満雄	075-811-4242	中京区西ノ京塚本町13-11	㈱宇治葬祭篤辰	木 村 久 孝	0774-31-8072	宇治市五ヶ庄芝の東53
㈱ 公 益 社	松 井 雄	075-221-4000	中京区烏丸六角上饅頭屋町608	山城葬祭樹現丸屋	小 川 保 善	0774-82-2064	綴喜郡井手町井手柏原83-2
㈱京都セレモニー	松 井 雄	075-221-8400	中京区烏丸六角上饅頭屋町608	(南) 花 福	福 田 善 文	0774-82-2016	綴喜郡井手町井手宮ノ本89
㈱公益サービスセンター	松 井 信 五	075-551-3422	東山区清閑寺山ノ内町46-2	(南) 阪 口	阪 口 仁	0774-76-2146	木津川市加茂町駅西1-5-3
駕 政 葬 儀 社	滝 口 泰 彦	075-691-0826	南区東九条北烏丸町14	平 城 公 益 ㈱	西 川 弘 人	0774-72-5709	木津川市相楽鳥井7-1
ライフアンドデザイン・グループ西日本㈱	伊 藤 健	075-933-4242	南区久世高田町35-3	㈱ 松 本 仏 具 店	松 本 光 雄	0771-22-0279	亀岡市安町86
あ め 直	阪 邊 賢 津 子	075-611-0400	伏見区京町六丁目54-1	(南) い ち た に	一 谷 和 弘	0771-62-4949	南丹市園部町小山東野水無38
㈱のじり葬儀店	野 尻 義 樹	075-611-4211	伏見区治部町123	㈱セレモニーまつだ	松 田 政 一	0772-46-2264	与謝郡与謝野町字弓木956
㈱ 山 長	山 田 一	075-861-1422	右京区太秦西峰岡町1	おのえメモリアル㈱	尾 上 雄 紀	0772-42-5555	与謝郡与謝野町算所229-1
㈱ ア シ ス	岡 本 研 三	075-932-4242	向日市寺戸町西田中瀬3	令 和 (南)	寺 尾 純	0772-72-2002	京丹後市網野町網野3156

最近のお葬式はどのように行われているか、また、費用はいくら位かかるか!? など、お葬式の内容を知りたい方は、上記の各店へ電話でお問い合わせ下さい。

心和むひととき…… JUNSEI

名物ゆどうふ

南 禅 寺

順 正

左京区南禅寺門前 TEL (075) 761-2311  
FAX (075) 751-8812

清水順正おかべ家  
清水寺門前……TEL (075) 541-7111  
祇園円山かがり火  
円山公園駐車場前…TEL (075) 541-0002

古美術

好古堂

〒605-0811 京都市東山区建仁寺東  
TEL・FAX 075-525-9111  
www.koukodokyoto.com

文化財建造物修復・社寺建築設計施工

園 木澤工務店

代表取締役 木澤善之

本 社 京都市左京区浄土寺真如町111番地-1  
TEL (075) 751-0628 (代) FAX (075) 752-9430  
営業所・工場 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地  
TEL (0749) 42-2859 (代) FAX (0749) 42-5727

筆・墨・硯・紙・簡易表装・短冊  
色紙・中国製筆・墨・硯・紙

株式会社 松 栞 園

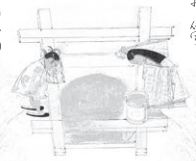
〒600-8075  
京都市下京区柳馬場通仏光寺下ル  
電 話 (075) 351-6380 (代表)  
FAX (075) 361-8006

授与品・記念品・その他一式

井筒授与品店

フリーダイヤル TEL 0120-075-820  
フリーダイヤル FAX 0120-075-890

〒601-8348  
京都市南区吉祥院観音堂町23番地  
E-Mail: izutsu5@iz2.co.jp



お墓の事ならなんなりと

一般建設業の許可：京都府知事 許可（般-23）第38917号



石のカウンセラー  
株式会社 石 栞 都

み  
や  
こ

遠近を問わず  
お伺い致します  
(見積り無料)

ヨクゾ ヨイイシ  
☎ (075) 491-4114 (代) FAX (075) 491-2426

京都市北区小山北玄以町24番地（上賀茂橋西詰バス停前）

みんなが笑っていてほしい



「とびだせ!」2022年 ©長谷川義史

# とびだせ! 長谷川義史展

2022年9月17日(土)→10月3日(月)  
大丸ミュージアム〈京都〉[大丸京都店6階]

電話(075)211-8111

[入場時間] 午前10時～午後6時30分(午後7時閉場) 初日9月17日(土)は午後1時開場 ※最終日は午後4時30分まで(午後5時閉場)  
[入場料(税込)] 当日料金：一般・大学生900円、中高生700円、小学生500円  
小学生未満無料

主催:MBSテレビ、京都新聞 協力:空色画房

長谷川義史展 京都

検索